

循環型社会のための リサイクル技術

循環型社会とは、廃棄物の発生を抑制、廃棄物等のうちの有用なものの利用、廃棄物の適正処理を行うことで、環境への負荷が低減される社会のことです。廃棄物をリサイクルするためにはそれぞれの素材ごとに分ける必要があります。本講義では、リサイクルの現場で使用されている選別技術について解説を行います。

古山 隆 教授

●出張講義分野

リサイクルおよび廃棄物処理の分野、SDGs(目標2、6、7、12)

●研究分野のキーワード

リサイクル、再生可能エネルギー

●専門分野

リサイクル工学、資源工学



大学ではこんなことを研究しています

持続可能な循環型社会の構築に向けて、リサイクル、エネルギーおよび環境保全についての研究を行います。具体的には、地域における各種廃棄物のリサイクルに関する実験や地域における各種エネルギー（太陽光、風力、バイオマスなど）の調査等を行っています。

先生からメッセージ

大学での教育は、講義による知識や技術の教授、実験によるそれらの実践、加えて、現場での体験も重要であると考えています。このため、共同研究を行っている企業を通して、リサイクルやエネルギーに関する知識や技術の体験教育を心がけています。本学では前述のような教育を行っていますので、様々な現場に積極的に出向き、そこで起こっている問題や課題を見出して自分なりの解決方法を考える人に来てほしいです。

略歴 九州大学大学院工学研究科資源工学専攻博士課程後期課程修了。博士(工学)。
九州大学工学部助手を経て、2010年4月より東北公益文科大学准教授。2015年4月より現職。